

令和 2 年度 学校自己評価システムシート (県立杉戸農業高等学校)

目指す学校像	いのちとみどりを育む学舎で、人間性豊かな心身ともにたくましい産業人を育成する。
--------	---

重点目標	1 授業の質を高め、将来にわたって学び続ける生徒を育てる。 2 社会人として評価される人材を育成する。 3 専門高校の特色を活かした進路指導の充実を図る。 4 地域との交流を深め、地域から信頼される学校づくりを推進する。
------	---

※ 重点目標は3つ以上の設定も可。重点目標に対応した評価項目(年度達成目標を意味する。)は複数設定可。
 ※ 番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に対応した「具体的方策、方策の評価指標」を設定。

達成度	A	ほぼ達成(8割以上)
	B	概ね達成(6割以上)
	C	変化の兆し(4割以上)
	D	不十分(4割未満)

※学校関係者評価実施日とは、最終回の学校評価懇話会を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする。

出席者	学校関係者	4名
	生徒	4名
	事務局(教職員)	9名

年度		学校自己評価			年度評価(3月11日現在)		
番号	現状と課題	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	評価項目の達成状況	達成度	
1	<p>【現状】 本校の生徒は特定の分野に高い関心を持って入学しているが、学力や学習意欲に大きな個人差がある。多様な資格取得に向けた取り組みを実施している。外部との連携事業などで生徒の発表の機会があり活躍をしている。考前に補習等を実施している。</p> <p>【課題】 学力の高い生徒をさらに伸ばす指導をする。農業教育を推進する。資格取得は費用がかかるため精査をする。資格の勉強で家庭学習を実施する。基礎学力の向上のために組織的な補習を実施する。主体的に学ぶ意欲を高め、学力の向上を促す。</p>	<p>○授業力を向上させる。</p> <p>○学習活動を充実させる。</p> <p>○農業高校の特色を活かした教育を実践する。</p>	<p>①授業公開を2回以上設定し、ICT技術を利用した授業を実施する。</p> <p>②保護者等への公開授業を実施する。</p> <p>③授業観察を行い、結果をフィードバックする。</p> <p>①補習を実施し学力を向上させる。</p> <p>②基礎力診断テストを活用し、学力を伸長させる。</p> <p>③朝読書を実施して、学習に取り組む環境作りを充実させる。</p> <p>①授業・補習・家庭学習で資格取得を向上させる。</p> <p>②農業高校として、特色ある学習活動を推進する。</p> <p>③現場実習を実施し、より農業について深い学びを推進する。</p>	<p>①授業公開を2回以上、タブレット・プロジェクターを活用した授業ができたか。</p> <p>②公開授業の満足度は8割を超えたか。</p> <p>③授業観察を行い、結果を授業者に還元できたか。</p> <p>①考查前等の補習が実施できたか。</p> <p>②基礎力診断テスト結果を面談等で活用できたか。</p> <p>③朝読書の学習活動で満足度は8割を超えたか。</p> <p>①各種の資格取得状況は向上したか。</p> <p>②学校農業クラブの、意見発表、農業鑑定、プロジェクト発表等で学習活動ができたか。</p> <p>③現場実習の参加者が増加したか。</p>	<p>①初任者が授業公開を実施し、多くの教職員が見学しタブレットを活用した授業を行った。</p> <p>②保護者対象の授業公開で満足度が83%だった。</p> <p>③教員同士の授業観察が不十分だった。</p> <p>①各学年、教科、学科でコロナ対策をしながら、個別や少人数で補習を実施した。</p> <p>②コロナ禍のため基礎力診断テストを自宅で実施し、進路活動や生徒との面談で活用した。</p> <p>③朝読書アンケートで満足度が85%だった。</p> <p>①コロナ禍でも資格取得に励み、本校で実施する資格試験の38種のうち約60%で合格者が増加した。</p> <p>②学校農業クラブ県大会では以下のような成果をあげることができた。 測量競技会 最優秀賞 プロジェクト発表全3部門 最優秀賞 意見発表全3部門 最優秀賞</p> <p>③今年度は、コロナ禍のため中止</p>	B	<p>教職員の働きかけにより、生徒はコロナ禍でも落ち着いて学習や学校行事に取り組んでいる。</p> <p>今まで成績不振の生徒に重点的に対応し減少を図ってきたが、成績上位の生徒を更に伸ばせるように公開授業や授業観察をより充実させていく必要がある。県では働き方改革も進められており、さらに効率的な校務処理の工夫が求められている。</p> <p>資格取得は、保護者からの関心も高いため各種の資格について検討する必要がある。</p>
2	<p>【現状】 継続的な生徒指導により、生徒は落ち着いている。学校がいじめのない穏やかな雰囲気である。遅刻の割合は減少している。インターネットトラブル防止や交通事故防止を強化している。</p> <p>【課題】 インターネットトラブル防止は保護者を交えて啓発する。基本的な生活習慣を構築する。安全、安心な学校生活を送る環境を整備する。交通マナーを遵守し、交通事故を減少させる。</p>	<p>○基本的な生活習慣を定着させる。</p> <p>○交通事故を減少させる。</p> <p>○情報化社会でのマナーを遵守させる。</p>	<p>①毎朝、立哨指導を実施する。</p> <p>②生徒状況を把握し、欠席・遅刻の改善指導を実施する。</p> <p>③生徒による挨拶運動を行い、挨拶の習慣をつける。</p> <p>①自動二輪車等の交通ルールを学習する機会を設定する。</p> <p>②定期的な自転車点検を実施する。</p> <p>③定期的な自転車運転の指導を実施する。</p> <p>①時間や場所を踏まえた、校内での携帯電話の使用規制を実施する。</p> <p>②携帯電話の使用やネットモラルについての講演会を実施する。</p>	<p>①声掛け・整容・遅刻等の指導が実施できたか。</p> <p>②欠席・遅刻者が前年度よりも減少したか。</p> <p>③挨拶運動による充実した学校生活が実現できたか。</p> <p>①交通ルールを学習する機会が持てたか。</p> <p>②自転車点検を3回以上実施したか。</p> <p>③交通事故や危険運転等が減少したか。</p> <p>①校内で携帯電話使用の使い分けができたか。</p> <p>②生徒・保護者に向けネットモラルの講演会を実施したか。</p>	<p>①各学年で毎日の立哨指導を実施した。また各学年で3密を避けて整容指導を実施した。</p> <p>②前年より遅刻者が23.8%増加してしまった。</p> <p>③生徒会とHR委員による挨拶運動を2回実施した。</p> <p>①meetを使い生徒主体で実施した。</p> <p>②1学期に1回、2学期に2回の計3回実施した。</p> <p>③今年度交通事故件数12月現在で6件、前年度より減少している。</p> <p>①携帯電話のマナー講習会や定期的なクラスへの資料提供を実施し使い分けができた。</p> <p>②コロナ禍であったがmeetによるネットモラル講演会を実施した。生徒アンケートでは92.6%の生徒がマナーを遵守している。</p>	B	<p>コロナ禍でストレスを抱える生徒もいたが、多くの生徒は生活態度もよく問題はない。一部の遅刻を繰り返す生徒については粘り強い指導が必要である。</p> <p>一方で交通事故は前年度より減少している。教職員の粘り強い指導が、今回の結果に結びついている。今後も具体的に事例を挙げる等の指導を継続していく必要がある。</p>
3	<p>【現状】 生徒・保護者の進路実現に大きな期待をしている。農業関係の仕事に興味を持っている。インターンシップは就業について考える良い機会になっている。保護者向けの進路説明を行っている。ポートフォリオ活用準備が整いつつある。進学者の中途や就職後の早期の離職もある。</p> <p>【課題】 将来を見据え高い進路意識を持たせる。明確な進路目標を早めに持たせる。企業を見極める力を育成する。進学が増加傾向のため面接や論文指導を実施する。</p>	<p>○進路意識を高め、就業について考えさせる。</p> <p>○自己肯定感を高め、進路実現をさせる。</p> <p>○組織的に早期の進路意識を向上させる。</p>	<p>①地域と連携し農業・関連産業への担い手育成を実施する。</p> <p>②農業・関連産業への興味関心が高まり農業の魅力や必要性を理解できたか。</p> <p>①学校全体で、就職指導等を行い合格に向けた適切なアドバイスをする。</p> <p>②きめ細やかな面接指導で生徒の自己肯定感を高め進路実現を目指す。</p> <p>③論文指導の充実により、農業系をはじめとする四年制大学への進学率を上げる。</p> <p>①1年次の1学期中に進路活動について生徒・保護者に説明する。</p> <p>②早期の進路希望の決定を目指し、2年修了までに求人票の確認やオープンキャンパスへ参加させる。</p>	<p>①農業の専門性を生かした進路実現ができたか。</p> <p>②農業・関連産業への興味関心が高まり農業の魅力や必要性を理解できたか。</p> <p>①就職指導を実施し、希望者の進路実現ができたか。</p> <p>②進学・就職試験の前に3回以上の面接練習をしたか。</p> <p>③農業系をはじめとする四年制大学進学者が30名を超えたか。</p> <p>①生徒・保護者に進路活動について伝えられたか。</p> <p>②2年修了までに、希望進路の情報収集、求人票の確認、オープンキャンパスの参加ができたか。</p>	<p>①農業、造園、食品の農業関連に29名就職した。</p> <p>②コロナ禍でインターンシップが中止になったが、各学科で外部講師による講義から76.6%の生徒が農業の魅力を理解することができた。</p> <p>①コロナの影響もあったが、1回目の就職試験で70%の内定率だった。</p> <p>②学年、学科等で協力し3回以上実施した。</p> <p>③四年制大学へ16名合格した。目標の30名には達しなかった。</p> <p>①保護者の進路情報の満足度が70.3%だった。3学年は求人票をclassroomにアップし、家庭でも閲覧できるようにした。</p> <p>②コロナ禍のためオープンキャンパスは参加せず、Iカードや各学年の進路行事を利用し、希望進路の情報収集、求人票の確認を実施した。</p>	B	<p>コロナ禍にあっても就職内定率は昨年と同程度だった。しかし大学進学率が減少しているため、進学指導を計画的に行い、大学進学者を増加させたい。また進路意識の向上に全校で取り組んでいる。</p> <p>希望の進路実現のために進学、就職試験に1回で合格できるよう学力の確保を図る必要がある。また進路情報が一部の保護者に伝わらない現状があり、的確な情報提供が求められている。生徒、保護者、教職員の連携体制が必要である。</p>
4	<p>【現状】 本校を受検した生徒のほぼ全員が、学校説明会等の行事に参加している。地域との連携事業は、事前事後の指導も含め充実している。</p> <p>【課題】 学校の取組や生徒の活躍の情報を保護者や地域、卒業生、中学生に発信する事で、開かれた学校づくりを推進する。学校HPは写真などの分かり易い内容にする。</p>	<p>○地域の要望に組織的に対応することで信頼を得る。</p> <p>○中学生や保護者が理解しやすい情報発信をする。</p> <p>○地域との交流を深め生徒募集につなげる。</p>	<p>①専門性を活かした地域連携を実施する。</p> <p>②即売会、文化祭、交通安全運動等の地域の期待に応える取組を実施する。</p> <p>①HP、学校案内、リーフレットによる情報発信を実施する。</p> <p>②学校説明会、体験入学等の内容を充実させる。</p> <p>①中学校へ本校の特色を情報発信する。</p> <p>②各種メディアへの情報発信を実施する。</p>	<p>①地域の事業所等との連携ができたか。</p> <p>②農産物販売、交通安全運動等の実施ができたか。</p> <p>①HP更新、リーフレットの作成ができたか。</p> <p>②学校説明会等の実施と内容の充実ができたか。</p> <p>①説明会等で本校の特色を伝えられたか。</p> <p>②新聞や町の広報誌に掲載されたか。</p>	<p>①コロナ禍だったが、門松作成、町役場植栽などで新聞各紙に取り上げられた。</p> <p>②校内で生徒・教職員を対象とした即売会や文化祭展示を実施した。地域の警察に交通安全キーホルダー、無事カエルマスコットを寄贈した。</p> <p>①12月現在で100回を超える更新を行った。リーフレットも作成した。</p> <p>②HPを活用して説明会や体験入学の案内を積極的に発信できた。また、HPからの申し込みを実施し、名簿の作成や受付で効率化が図れた。</p> <p>①本校生徒のビデオメッセージを作成し、中学生やその保護者に学校のPRができた。</p> <p>②新聞や町の広報誌に17件掲載された。</p>	A	<p>コロナ禍であったが、本校は教職員の協力により地域と連携できた。今後も一層の開かれた学校づくりが必要である。</p> <p>またホームページの各部の更新回数を増やし、学校の現状や取組を伝えることで、生徒募集に繋げていく。</p>

学校関係者評価	実施日 令和3年1月22日
学校関係者からの意見・要望・評価等	<p>コロナ禍であるが、学校や先生方の努力で生徒が熱心に授業を受けている様子が良くわかった。</p> <p>ICTの活用で授業の質の向上が図られている。また、授業でグループ学習を行っているクラスもあり、活発に意見交換されていた。今後もコロナ感染予防対策をしながら、生徒が一方的な受け身にならない授業の工夫に努めてほしい。</p> <p>成績上位者に進学や就職等の明確な目標を持たせ、補習や課題を実施してほしい。</p> <p>資格取得は必要である。しかし費用負担もあるので、学科の特性や本人の進路希望を踏まえ、将来必要かどうかをよく見極める必要がある。</p> <p>生徒は落ち着いていて、授業態度が大変良い。遅刻は家庭と学校が連携し指導にあたってほしい。</p> <p>交通事故は減っているが、今後も引き続き指導をお願いしたい。</p> <p>コロナ禍であったがmeetを利用してネットモラルについて学ぶことができたのはよかった。</p> <p>2年生の早い時期に自分の進路をどうするか決定させて、やる気を引き出し目標に向かって努力させられるように。そのためには、生徒と保護者に様々な進路の情報を提供してほしい。</p> <p>進学希望者には、第一希望の学校への合格を目指してほしい。就職希望者には、杉戸農業の生徒は、まじめで純粋で、職業への訓練もできているので地域の産業界で活躍してほしい。</p> <p>地域連携の活動は、近隣住民の方からも感謝と大きな期待が寄せられている。今後もコロナ感染予防に努めながら、互いに協働しあい、地域社会の発展のために、活動してほしい。</p> <p>杉戸農業高校の教育活動を地域の人たちにもっと情報発信し、志願者が増加するとよい。そのために、地域の施設の活用も視野に入れて取り組んでほしい。</p>

